

令和六年、浄土宗は 開宗八百五十年を迎えます

令和六（二〇二四）年は法然上人（一一三三―一二二二）が浄土宗を開かれて八百五十年目にあたる年です。「南無阿弥陀仏」となれば、すべての者が救われる―。善導大師のお言葉（「開宗の文」）との出会いにその確信を得た上人は、京都・吉水の地（今の知恩院が建つ辺り）でお念仏の教えを弘めました。その教えは八百五十年を経ようとする今もなお脈々と伝えられ、私たちは極楽浄土へと続く確かな道を歩むことができるのです。

開宗の文

一心に専ら弥陀の名号を念じて、行住坐臥に時節の久近を問わず。念念に捨てざる者、これを正定の業と名づく。かの仏の願に順ずるが故に。

【現代語訳】

いついかなる時でも一心に「南無阿弥陀仏」とお念仏をとなえる。これを毎日繰り返していくことが極楽浄土を叶える確かな修行となる。なぜなら私たちがお念仏をとなえて極楽に往生することこそ、阿弥陀仏の願いに他ならないのだから。

「令和版結縁交名」（別紙）でご縁を結びましょう。

- 手を合わせ「南無阿弥陀仏」とお念仏を十回おとなえましょう。
- 「令和版結縁交名」（別紙）の「南無阿弥陀仏」もしくは「なむあみだぶつ」を、心をこめてなぞり書きしてください。漢字、ひらがな、どちらでもかまいません。
- ご署名いただきましたら、菩提寺のご住職や行事主催者にお渡しください。

※「令和版結縁交名」は結縁の証として奉納することが目的であり、その他の用途に使用することはありません。

【お問い合わせ】

浄土宗社会部 〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4

電話 03-3436-3351

浄土宗開宗八百五十年慶讃事業

浄土宗HP



法灯リレー 令和版結縁交名の ご案内

お念仏からはじまる幸せ



法然上人
浄土宗
開宗850年
お念仏からはじまる幸せ
令和6年

法灯リレー

法然上人は比叡山ひえいざんの黒谷くろたににある青龍寺せいりゅうじで修行と勉学に励まれたのち、比叡山を下り、東山吉水の地で念仏弘通ねんぶつくわうずうに尽くされ、そのみ教えは次第に全国へと弘まりました。

当事業は、上人のみ教え（法灯）の尊さを開宗八百五十年を機にあらためてお伝えするため、青龍寺報恩蔵ほうおんぞうの灯を分灯して、お念仏のみ教え（法灯）と仰ぎいただき、青年僧による念仏行脚で、まずは知恩院までお運びし、その後、浄土宗寺院を通じて全国各地、さらには海外の多くの方々にリレーするものです。

皆様のお手元には、「令和版結縁交名」れいわばんけつえんきょうな（別紙）としてお届けいたします。

青龍寺

国内外の各教区から各組・寺院・檀信徒へ

法灯リレー吊灯籠

なむあみだぶつ
南無阿弥陀仏

令和版結縁交名

源智上人造立阿弥陀如来立像（重文）

浄土宗総本山 知恩院

令和版結縁交名

法然上人の弟子である源智上人げんちは、法然上人の一周忌にあたり、一体の阿弥陀如来立像あみだによらいりやうぞうを造立し、供養の思いを表されました。そのお像の中には、造立にあたってご縁を結ばれた四万六千人にのぼる方々の姓名が書かれています。それは、多くの人々が西方極楽浄土に往生することを願ひ、法然上人のみ教えと縁を結び、感謝の思いでお念仏をとなえた証です。

法然上人が浄土宗を開かれてから八百五十年を迎える今、令和の時代に生きる私たちも、お念仏をとえ、往時の人々にならってお名前を記しましょう。そのすべてのお名前を、源智人造立の阿弥陀如来像の御前に奉納いたします。

この好機に一人でも多くの方にお念仏とご縁を結んでいただきたくご案内申し上げます。